

業務のご報告 第92期

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

 敦賀信用金庫



理事長

坊 栄二

木々の緑が一段と深まり夏の訪れを感じる今日この頃、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに、令和4年度（第92期）の営業の概要と決算の状況についてご報告を申し上げるにあたり、日頃のご愛顧に対しまして心から厚くお礼申し上げます。

さて、今期の国内経済は、新型コロナ・オミクロン株（以下、コロナ）感染急拡大に伴い適用されていた「まん延防止等重点措置」が3月に全面解除されると、マスク着用基準の緩和方針表明や旅行喚起策への財政支援のほか6月には外国人観光客の短期滞在入国制限が緩和されるなど徐々にウィズコロナの経済活動が動き出しました。特に所謂「インバウンド」は年末以降増加傾向にあり足元ではクルーズ船の国内寄港も始まっています。一方、ロシアのウクライナ侵攻に伴う食料・エネルギー価格高騰に加え、相次ぐ欧米の政策金利引上げにより日米の金利差が拡大し元々円安傾向が続いていた円は10月に151円/\$まで下落、これにより食材・食品等の輸入価格が上昇し個人消費に大きなダメージを与えました。また、6月以降は梅雨や台風による水害・土砂災害が各地で発生、さらに、比較的大きな地震が九州・東北・北陸・北海道で発生し被害が出ました。このほか、6月以降関東地方を襲った40度を超える猛暑や12月の大雪による国道8号立ち往生など昨年に続き自然災害により多くの被害が発生しました。

当地経済も、これまで同様多くの事業者がコロナの影響を受けており、当金庫が令和4年9月に実施した「企業業況アンケート」の結果によれば売上減少は全業種に亘り、特に飲食、宿泊、卸小売業では売上減少30%以下が58%、30%以上が11%と69%の事業所が影響を受けており、「業況」「売

上」「収益」BSIは依然としてマイナス圏にあります。また、敦賀商工会議所が令和4年12月に実施した「敦賀市内景気動向観測等調査」でも原材料の高騰に加えコロナの影響により引続き各種BSIはマイナス圏にあります。然し乍ら、何れの調査も前回比では改善傾向にあり、特に「今後の売上予想」BSIは1.45%と景気回復に明るさが見える結果となりました。

この様な環境下、当期の預金は、個人及び法人預金の増加が寄与し、期末残高は1,538億円、前期比37億円、2.52%の増加、期中平残は1,542億円、前期比47億円、3.20%の増加となりました。貸出金は、手形貸付、証書貸付及び当座貸越が増加したことから期末残高は483億円、前期比10億円、2.13%増加、期中平残は477億円、前期比△5億円、1.22%の減少となりました。

収益面では、貸出金利息は減収しましたが有価証券利息配当金が増収となったことから資金運用収益は増収となり、業務収益は前期比43百万円の増収になりました。その他経常収益が減収となったことから、経常収益は前期比14百万円の減収となりました。費用について、預金平残は増加しましたが、利回り低下により資金調達費用は減少しました。経費は減少しましたがその他業務費用の増加により業務費用は前期比77百万円の増加となりました。貸倒引当金繰入減少によりその他経常費用が減少したことから経常費用は前期比145百万円の減少、この結果、経常利益は前期比131百万円の増益となる258百万円となりました。業務純益は業務費用の増加により435百万円となりました。

以上の結果、当期純利益は、前期比77百万円の増益となる191百万円となりました。

財務体質の健全性を示す自己資本比率は、前期比0.26ポイント上昇し11.79%となり引続き健全性維持に問題のない水準であると考えております。

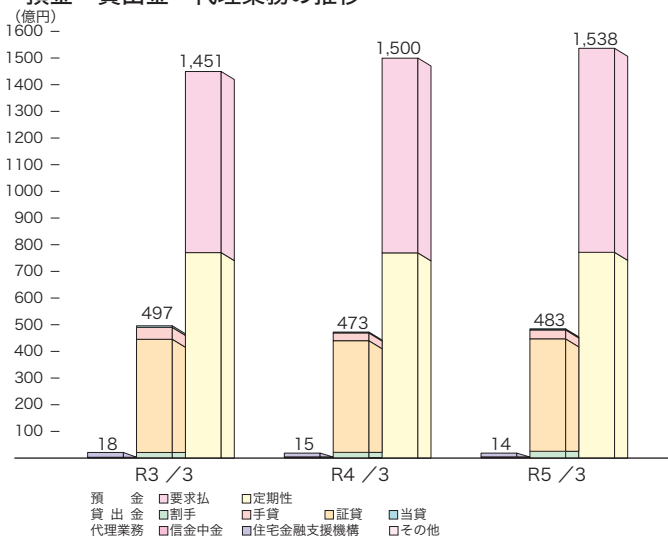
「つるしん支援力の強化と変革への挑戦3か年計画」の最終年度となる令和5年度は、地元事業者や地域住民の拠り所となる金融機関を目指し収益力強化、コンプライアンス強化を図るほか、「事業承継、事業回復のための本業支援、経営改善支援に向け経営者に寄り添う“伴走型支援”に取組むこと」を最重要課題と位置づけ取組んでまいります。また、引続き外部機関・専門家等と連携し事業性評価の取組みを強化するなど「中小企業の支援」に取組みます。

何卒、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

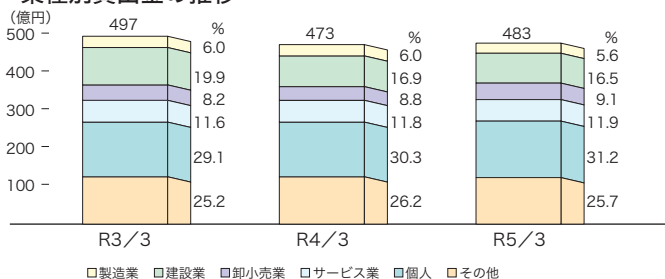
令和5年6月

業務の概要

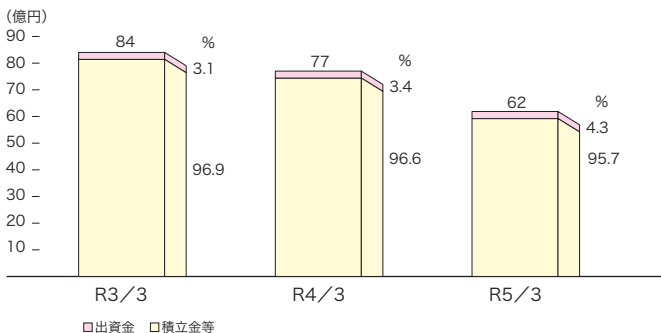
預金・貸出金・代理業務の推移



業種別貸出金の推移



純資産・出資金の推移



主な庶務事項

■総代会

- 令和4年 6月 第71回通常総代会をニューサンピア教養で開催しました。
報告事項 第91期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書報告の件
上記計算書類の内容を報告いたしました。
- 決議事項
第1号議案 第91期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）剰余金処分案承認の件
原案通り承認可決されました。
- 第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
原案通り承認可決されました。
- 第3号議案 理事全員の任期満了に伴う選任の件
下記の9氏が選任され、就任いたしました。
坊 栄二 長岡 章将 島崎 利治
高岸 裕 松中 尚 西部 拓
小森 英雄 刀根 莊兵衛 徳本 達郎
- 第4号議案 監事全員の任期満了に伴う選任の件
下記の3氏が選任され、就任いたしました。
梅木 智巳 西浦 茂 桑村 典之
- 第5号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件
理事会へ一任することに承認可決されました。
- 第6号議案 退任監事に対する退職慰労金贈呈の件
監事会へ一任することに承認可決されました。

■その他の主な事項

- 令和4年 4月 ・店舗運営の効率化を目的として、松原支店を中央町支店のサテライト店舗として営業開始しました。
- 令和4年 5月 ・職域契約先専用商品サポートローン「オアシス」、フリーローン「フィット」のWEB申込みの取扱いを開始しました。
・住宅ローン「プレミアム」の発売を開始しました。
・敦賀市内店舗において「（新型コロナ対策事業）中小企業者事業継続支援給付金」受付を開始しました。（～8月末）
- 令和4年 6月 ・「第19回リサイクル定期預金」の発売を開始しました。
- 令和4年 8月 ・県内信用金庫と福井銀行によるATM相互入金の取扱いを開始しました。
・サイバーセキュリティ対策として電子メールセキュリティシステムを導入しました。
- 令和4年 9月 ・中小機構（金沢キャンパス）と連携し、飲食店経営者等を対象とした「新幹線延伸のチャンスを活かす！飲食業のための繁盛店づくりセミナー」を開催しました。（計3日間）
- 令和4年10月 ・福井県下4信用金庫統一ボランティア活動「しんきんクリーン作戦」において敦賀市・美浜町・若狹町（旧三方町）の各駅を役職員全員で清掃しました。
・敦賀市と連携し、健康支援アプリ「敦とんあるこ」に係るポイント事業として、敦賀市内の飲食店にて利用できるクーポン券プレゼント企画「飲食店応援杯」に取組みました。
- 令和4年11月 ・SDGsの取組みの一環として、手数料の新設・改定を行いました。
・手形・小切手の電子化開始に伴い電子交換所に参加しました。
- 令和4年12月 ・「第21回エコ定期預金」の発売を開始しました。
・当金庫創立90周年記念事業として、「当地の未来を担う子供たちの学校教育環境の充実」を目的に、敦賀市・美浜町・若狹町へ寄付を致しました。
- 令和5年 1月 ・2021年1月以降に開設された口座で、2年以上未利用等の口座に対する未利用口座管理手数料の取扱いを開始しました。
- 令和5年 2月 ・「敦賀まちゼミ」参画事業、セミナー「親子で学ぶお金の大切さ」を開催。小学生親子20名が参加しました。
・顧客利便性向上として、土曜日の各種オンラインサービスの時間を延長しました。
- 令和5年 3月 ・「マネー・ローダリング及びテロ資金供与対策」への取組みの一環として、お客様情報確認のご案内の郵送を開始しました。
・「リサイクル定期預金」発売期間中の増加額に応じた一定割合相当額を、環境保護を目的として敦賀市・美浜町・若狹町へ寄付をしました。
・海外クルーズ船 ウェステルダム敦賀寄航にあたり「おもてなしワークショップ」に5名がボランティア参加しました。
- *eco定期預金 敦賀市・美浜町・若狹町のゴミの減少度合いによって金利が上乘せされる定期預金
- *リサイクル定期預金 敦賀市・美浜町・若狹町の資源ゴミの増加度合いによって金利が上乘せされる定期預金

■味覚の会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

■しんきん旅行友の会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

■年金相談会

令和4年度中12回開催

78名参加

貸借対照表

資 産	金 額
(資産の部)	千円
現金	1,798,950
預 け	31,698,138
金 銭 の 信 託	—
有 価 証 券	78,074,039
国 債	3,579,640
地 方 債	2,653,379
社 債	46,159,926
株 式	510,622
そ の 他 の 証 券	25,170,469
貸 出 金	48,338,634
割 引 手 形	186,465
手 形 貸 付	3,406,554
証 書 貸 付	42,138,471
当 座 貸 越	2,607,143
そ の 他 の 資 産	801,318
未 決 済 為 替 貸	19,502
信 金 中 金 出 資 金	558,300
未 収 収 益	175,713
そ の 他 の 資 産	47,802
有 形 固 定 資 産	947,706
建 物	373,528
土 地	486,276
建 設 仮 勘 定	—
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	87,901
無 形 固 定 資 産	16,604
ソ フ ト ウ ェ ア	15,670
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	934
前 払 年 金 費 用	9,045
繰 延 税 金 資 産	61,925
債 務 保 証 見 返	202,890
貸 倒 引 当 金	△ 1,374,253
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,327,811)
合 計	160,574,999

- (注) 1. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。
 2. 財産目録の金額は資産・負債の金額と同一につき省略いたします。

第92期 令和5年3月31日現在

負債および純資産				金	額
				千円	
(負債の部)					
預	金	積	金	153,854,526	
当座	預	金	金	4,425,136	
普	通	預	金	70,549,109	
貯	蓄	預	金	701,361	
通	知	預	金	201,899	
定	期	預	金	71,285,057	
定	期	積	金	6,009,895	
そ	の	他	の	預	金
讓	渡	性	の	預	金
そ	の	他	の	預	金
				債	156,590
未	決	済	為	替	32,883
未	払	払	費	借	20,354
給	付	補	填	用	1,156
未	払	法	人	金	29,467
前	受	取	収	等	31,306
金	融	派	生	益	-
そ	の	他	の	品	-
				債	41,422
賞	与	引	当	金	34,871
退	職	給	付	引	当
役	員	退	職	慰	勞
睡	眠	預	金	払	戻
偶	発	損	失	引	当
繰	延	税	金	負	債
債	務	保	合	証	202,890
負	債	の	部	計	154,319,674
(純資産の部)					
会	員	勘	定	金	8,199,055
普	通	出	資	金	266,672
利	益	剰	余	金	7,932,383
	利	益	準	備	金
	そ	の	他	利	益
	特	別	積	立	金
	当	期	未	処	分
	評	価	・	換	算
	繰	延	ヘ	ッ	ジ
	純	資	産	の	部
					計
					△ 1,943,730
					△ 1,943,730
					-
					6,255,324
合 計				160,574,999	

損益計算書

第92期（令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで）

科 目	金 額
経 常 収 益	1,829,933 千円
資 金 運 用 収 益	1,445,036
貸 出 金 利 息	734,449
預 け 金 利 息	59,669
有価証券利息配当金	637,168
金利スワップ受入利息	-
その他の受入利息	13,749
役 務 取 引 等 収 益	187,700
受入為替手数料	85,514
その他の役務収益	102,186
そ の 他 業 務 収 益	86,405
外国為替売買益	670
国債等債券売却益	55,026
国債等債券償還益	-
その他の業務収益	30,708
そ の 他 経 常 収 益	110,790
貸倒引当金戻入益	-
償却債権取立益	954
株式等売却益	108,477
金銭の信託運用益	-
その他の経常収益	1,358
経 常 費 用	1,571,753
資 金 調 達 費 用	6,365
預 金 利 息	5,980
給付補填備金繰入額	385
譲渡性預金利息	-
金利スワップ支払利息	-
役 務 取 引 等 費 用	123,343
支払為替手数料	18,057
その他の役務費用	105,286
そ の 他 業 務 費 用	119,719
外国為替売買損	-
国債等債券売却損	54,174
国債等債券償還損	-
国債等債券償却	65,520
その他の業務費用	25

(注) 記載金額は千円未満を切捨てして表示しております。

科 目	金 額
経 費	1,143,176 千円
人 件 費	704,818
物 件 費	395,317
税 金	43,040
そ の 他 経 常 費 用	179,148
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	170,525
貸 出 金 償 却	3
株 式 等 売 却 損	-
株 式 等 償 却	5,425
金 銭 の 信 託 運 用 損	-
そ の 他 の 経 常 費 用	3,194
経常利益（又は経常損失）	258,179
特 別 利 益	-
固 定 資 産 処 分 益	-
そ の 他 の 特 別 利 益	-
特 別 損 失	1,421
固 定 資 産 処 分 損	1,421
減 損 損 失	-
そ の 他 の 特 別 損 失	-
税 引 前 当 期 純 利 益 （又は税引前当期純損失）	256,757
法人税、住民税及び事業税	50,538
法 人 税 等 調 整 額	14,887
法 人 税 等 合 計	65,426
当期純利益（又は当期純損失）	191,331
繰越金（当期首残高）	455,429
..... 積立金取崩額	-
当 期 未 処 分 剰 余 金 （又は当期未処理損失金）	646,761

剰余金処分

第92期（令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで）

	円
当期末処分剰余金	646,761,110
積立金取崩額	—
剰余金処分量	308,991,920
利益準備金	1,050,000
普通出資に対する配当金 (年3%の割)	7,941,920
特別積立金	300,000,000
繰越金（当期末残高）	337,769,190

上記の通りであります。

令和5年6月

敦賀信用金庫

理事長	坊 栄 二	理事	小 森 英 雄
常務理事	長 岡 章 将	理事	刀 根 莊 兵 衛
常務理事	島 崎 利 治	理事	德 本 達 郎
常勤理事	高 岸 裕		
常勤理事	松 中 尚		
常勤理事	西 部 拓		

以上各項は適法でありかつ正確妥当なることを認めます。

令和5年6月

常勤監事	梅 木 智 巳
監 事	西 浦 茂
監 事	桑 村 典 之

(注) 監事 桑村 典之は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

なお、EY 新日本有限責任監査法人による監査の結果、適法と認められております。

総代会制度について

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

総代とその選任方法

(1)総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
 - ・総代の定数は60人以上90人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。なお、総代の定年は満75歳です。
- 令和5年3月末日現在の総代数は65人で、会員数は6,481人です。

選任区域		総代数
第1区	敦賀市北地区他	9
第2区	敦賀市西・南・中郷地区他	15
第3区	敦賀市松原地区他	13
第4区	敦賀市栗野地区他	13
第5区	美浜町地区	10
第6区	若狹町地区他	5
合 計		65

(2)総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

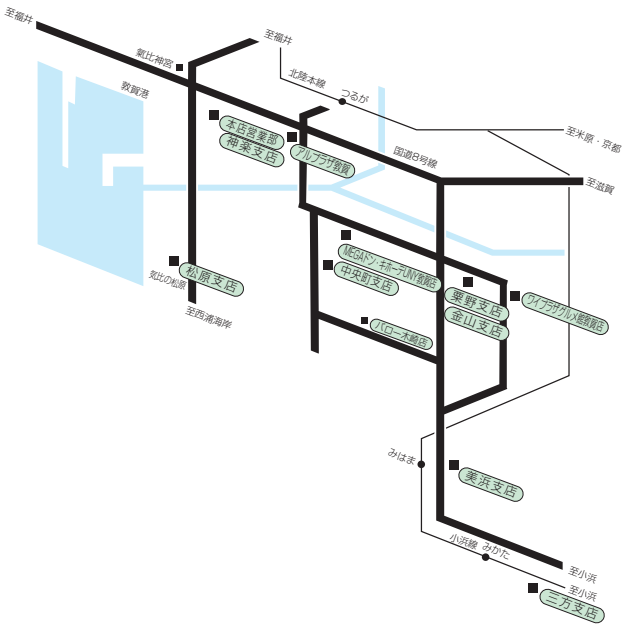
そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

- ①総代会において総代候補者選考委員を選任する。
- ②総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

会員のみなさまへ

日頃お気付きの点、ご意見等がございましたら、お取引店または本部担当部署までお寄せ下さい。

ネットワーク



店舗のご案内および自動機のご案内

- 本店営業部 敦賀市本町一丁目11-7 22-3500
0120-150996
- 神楽支店 敦賀市本町一丁目11-7 22-1550
- 松原支店 敦賀市松島町29-18-1 23-3215
- 栗野支店 敦賀市市野々町一丁目240 23-4810
- 金山支店 敦賀市市野々町一丁目240 25-7250
- 中央町支店 敦賀市中央町一丁目13-1 24-0024
- 美浜支店 三方郡美浜町郷市13-4-1 32-0104
- 三方支店 三方上中郡若狭町鳥浜49-31-1 45-0072

●アルプラザ敦賀	●パロー木崎店
●MEGANドンキホーテUNY敦賀店	●ワイブラザグルメ館敦賀店 (令和5年5月31日現在)

現金自動機のご案内 ●無休にて稼働



令和5年6月

会員各位

敦賀信用金庫

理事長 坊 栄 二

第72回通常総代会決議事項のお知らせ

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年6月15日に開催いたしました第72回通常総代会におきまして下記の通り報告並びに決議されましたのでお知らせ申し上げます。

敬 具

記

報告事項 第92期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)業務報告、貸借対照表、損益計算書報告の件
上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 第92期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)剰余金処分案承認の件
原案通り承認可決されました。

第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
原案通り承認可決されました。

以 上